

# に聞く 用の実態

雇用に不安を感じている中で、  
している事業所があります。  
配慮したことなどを聞き、  
の手掛かりを探ります。

## 教えたとおりに作業してくれる 地域産業の人手不足の解消に

南雲苺園 南雲仁志 さん

埼玉県出身。東京都内で12年勤めた会社を退職。  
昨年12月から合戸地区でイチゴ栽培を開始。



南雲仁志さんは「農業を通じて地域に貢献したい」という思いのもと、イチゴ栽培に励んでいます。また、障がいのある人が農業を通じて社会参画を実現していくための取り組み（農福連携）にも力を入れています。

南雲さんは、池新田地区にある就労継続支援B型事業所「ポトラッチ」で働く障がい者を、本年9月から10月にかけて自家農園で雇用しました。5〜7人の利用者に毎日2時間ずつ定植作業を依頼。「始めは『教えたとおりに作業してくれる

のかな』と不安がありました。たが、いざ働いてもらうと、とても丁寧に取り組んでくれたので安心しました。また、ポトラッチの職員さんが利用者さんを適材適所に配置してくれたり、一緒になって仕事に取り組んでくれたりするので安心して仕事を頼むことができました」と話します。

さらに、市内で働き口が少なく困っている障がい者がいる一方、農業は人手が不足しているといえます。南雲さんは「農業では作物の収穫時期によって繁忙期

が異なるため、さまざまな農作物の現場で人手が不足しています。これらの農業は、それぞれの作物の繁忙期に合わせ、障がいのある人にピンポイントで仕事をお願いすることも増えています。また、障がいのある人でも経験を積み、必要な支援を周囲がすること、ゆくゆく

くは農業の担い手として活躍していけると考えています。さらに農業だけでなく、さまざまな業種の需要に応じていくことで、新たな働き手となるでしょう。これは、障がいのある人が就労できるということだけでなく、生きがいづくりの場を生み出すことにもつながるのかもしれない。まずはこの農園で経験を積み、一般雇用への一歩を踏み出すきっかけにしてほしいですね」と語ります。



就労継続支援B型事業所  
ポトラッチ

ポトラッチと契約している利用者は、地域企業から請け負った仕事に取り組むことで経験と報酬を得ています。

住所 御前崎市池新田 2465-28  
TEL 0537-64-3885  
営業 9:30~15:30